

P-10

ピクノジェノールとカレンデュラを主成分とする ブレンド精油の月経困難症に対するオープン臨床試験

An open clinical trial of the effects of Pycnogenol & Calendula
combined essential oil on adult volunteer with dysmenorrhea

○ 滝本 裕子¹⁾、中出 祐介²⁾、關谷 暁子¹⁾、川島 拓也¹⁾、上馬場 和夫³⁾、
Jeffrey Michael Strong¹⁾、杉田 直道⁴⁾、新井 隆成¹⁾、鈴木 信孝¹⁾、宇住 晃治⁵⁾

1) 金沢大学大学院医学系研究科、2) 金沢大学医学部附属病院、3) 富山大学和漢医薬学総合研究所、
4) 金沢片町クリニック、5) 株式会社ライフサイエンス研究所

An open clinical trial of the effects of Pycnogenol & Calendula combined essential oil on adult volunteer with dysmenorrhea was conducted. Our preliminary clinical test revealed that treatment with this oil lowered the pain scores for abdominal pain and lumbago significantly. Furthermore, the diminished use of analgesics over the study was seen. To confirm these findings, further clinical examination will be needed.

【目的】

フランス海岸松樹皮エキス（ピクノジェノール）には血流改善作用と抗炎症作用、カレンデュラオイル（トウキンセン花油）には鎮痛作用があることが知られている。今回、これら2種類の主成分に加え、ローズマリー油他数種類の精油をブレンドし、月経困難症に対する評価を行った。

【方法】

日本補完代替医療学会倫理委員会の承認を得た後、インフォームドコンセント下に20歳以上の月経痛を有する者20名に対し、予定月経2日前から月経3日目まで当該精油を下腹部に1日4回（0.1ml/回）（疼痛が強い場合は8回/日まで使用とした）塗布した。評価は、VASにて行なった。なお、常用していた鎮痛剤については併用を許可し、その使用量の変化についても記載した。

【結果】

月経痛のうち、腰痛は月経2日目（ $p=0.04$ ）に、下腹部痛は月経2日目（ $p=0.003$ ）と3日目（ $p=0.03$ ）に有意に減少した。また、鎮痛剤の使用量については、月経2日目に有意に減少した（ $p=0.02$ ）。総平均コンプライアンスは84%であった。また、アレルギー等の有害事象は認められなかった。

【結論】

ピクノジェノールとカレンデュラを主成分とするブレンド精油は、月経困難症に有用な可能性が示唆された。また、当該精油は安全性についても問題はないと考えられた。今後は、対象人数を増やして検討したい。